

第3号様式（第6条関係）

新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画（案）に関する
意見募集の結果について

令和 5年 4月 25日
新居浜市教育委員会学校教育課

- 1 意見募集期間 令和5年2月20日（月）～3月24日（金）
- 2 意見提出人数 13人
- 3 意見提出件数 33件
- 4 提出意見の概要と意見に対する市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	子供の見守り、子育て支援、子育て支援のための教員育成を考えると、小規模校を合併させて、規模を大きくする必要はありますか。合併しなくていいのではないですか。	学校では、教科等の知識や技能の習得に加え、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要であり、望ましい学校規模を小学校は1学年2学級以上、中学校は1学年4学級以上としています。
2	一人の先生で30人の子供を指導するのが適切な数ですか。先生の指導のためにも規模を小さくしといたほうがいいのではないですか。	本市の一学級の児童生徒数は、現在県の規程に準じて、小学校1～4学年は35人、5・6学年及び中学生は40人となっていますが、児童生徒間のコミュニケーション、教員と保護者との情報交換、教員によるテストの評価等の負担を考慮し、望ましい学級規模を小・中学校ともに1学級30人程度としています。
3	パブリックコメントの募集をホームページで探したがなかなか見つけれませんでした。ホームページを見ても、わかりづらいことが多いので、ホームページの作り方を考えてほしい。	ホームページの作成に当たりましては、市民の皆様にとって分かりやすい内容となるよう心がけてまいります。
4	児童数の減少に伴い、学校を統合するの	学校は、防災拠点としての役割や、地域に

	<p>は致し方ないことと思います。</p> <p>統合後の、空いた校舎はどのような予定ですか。不登校の生徒さんのための場所を確保できないですか。「おとなの学校」と称した、学校スタイルの介護施設で、認知症予防や改善のためのサービスを提供しているところもあります。慣れ親しんだ校舎を、市民のために有効に活用してください。</p>	<p>おける文化・スポーツ活動の拠点としての側面を持っていることから、統廃合による学校跡地の利用については、施設の状況や地域の意見を十分に考慮し、全市的な行政施策との調整を図りながら検討してまいります。</p>
5	<p>統合後に空いた校舎は、どのような予定ですか。不登校の生徒さんが通える場所や、会議室などを設けてはどうか。既存の建物の有効活用をお願いします。</p>	<p>番号4の回答をご参照ください。</p>
6	<p>小学1年生に片道3kmの徒歩は負担、片道2kmまでとすべきです。重い荷物を持ち、さらに炎天下の中の長距離の徒歩通学は、児童を熱中症、さらに生命の危機にさらしかねません。最大でも2kmが限度と思います。</p>	<p>通学距離については、国の基準は、小学校では概ね4km以内、中学校では概ね6km以内とされていますが、児童生徒が体力的・精神的に疲労することのないよう、また学校における学習意欲や様々な活動に影響を与えることのないよう十分配慮し、本市は、小学校は概ね3km以内、中学校は概ね6km以内が適当であると考えています。</p>
7	<p>バス通学となる場合は、児童・生徒の家庭の家計に関わらず全額を公費負担とするのが筋と考えます。</p>	<p>通学距離が遠距離になる場合の通学支援制度については、全市的な見地から費用負担を考慮し検討してまいります。</p>
8	<p>学童帰りの時間帯にも帰宅用のバスの確保がなされるのが筋と考えます。このバスの費用も所得制限なしで全額公費負担とするのが筋と考えます。</p>	<p>番号7の回答をご参照ください。</p>
9	<p>新居浜市の教育に関わる大切な案件にもかかわらず、ほとんどの人がこの計画について知りません。積極的に市民の意見を聞こうとする姿勢があるのなら、学校やPTA、幼稚園や保育園などを通して、学校に関わる保護者やこれから小学校に通う幼児をもつ保護者に、これから子どもを持つ若い世代にも、学校が変わる計画があることを伝え、その上で意見を募集するべきだと思</p>	<p>本計画は、学校、保育園、幼稚園、PTA、自治会、公民館のほか、市内各種団体の代表者で構成する「新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会」の答申を踏まえて、教育委員会としての基本的な考え方を整理したもので、適正化の検討が必要な学校につきましては、個別計画を策定することとしており、地元説明会等を通じて、保護者や地域住民等、関係者の皆様に丁寧な</p>

	ます。	説明やアンケート調査を行うとともに、意見交換や協議の場を設けることとしており、その内容につきましても情報共有を図りながら取り組みを進めてまいります。
10	<p>少子化がかなりすすんでいることを改めて感じました。学校をこれまで通りの形で存続させる難しさも感じました。</p> <p>若宮小学校廃校の際にはあまりに急で大きな反対や混乱があったことも考えると、このようにしっかりと次の段階を計画していくことは大切だと思います。</p>	本基本計画をもとに保護者や地域住民、学校関係者などと話し合い、合意形成を図りながら、学校規模適正化や適正配置に取り組み、児童生徒にとってより良い教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図ります。
11	<p>校舎を引っ越すだけでなく、人間関係が大きく変わるとは子どもたちの精神的な負担になります。特に人間関係の影響は大きいと思います。3年しかない学校生活の中で前もって交流させるのですか。そんな落ち着かない環境の中で、受験生なんてどうするのですか。学校で校舎が変わるのは別物にならないくらい影響があると思いますが、そのあたりはどう考えていますか。少なくなれば、併せればいいといった簡単なものではなく、この機会に教育の在り方を見つめなおすことも合わせてしてほしいです。</p>	学校統合を行うこととなった場合には、急激な人数の増加に伴う児童生徒の戸惑いや不安をやわらげ、人間関係の構築に留意した学校運営に配慮する必要があるため、不安や悩みを把握するための継続的なアンケート調査の実施等、フォロー体制を確保し、また教育方針や教員配置、学校行事が急変することのないよう、学校行事、部活動、PTA等において事前の相互交流を行うなど、統合前の学校運営を十分に考慮し、円滑な学習環境づくりに努めてまいります。
12	<p>子どもたちを第一に考えて一方的に進めることなく時間をかけて丁寧に関係者と意見を交わし、取り組んでほしい計画だと思います。どうか子どもたちの教育について、子どもたちのことを1番に考え、慎重にお願いします。</p>	番号9・10の回答をご参照ください。
13	<p>惣開、西中の良さ、校風、地域性、特色は大切にさせていただけないのでしょうか。船木や大生院、多喜浜は距離の問題から小規模校をメリットとして許されるのに、令和27年になっても今とかわらず2クラスを維持できている西中を、少なくなった北中</p>	教育的な観点から、本市の望ましい学校規模を中学校は1学年4学級以上としておりますが、通学区域の見直しだけでは、将来的に安定した規模を確保することが困難となることが予想されるため、規模適正化は統合を軸として考えています。

	<p>の為に場所も地域性も変えて負担を強いられなければならないのでしょうか。</p> <p>校区を見直せば西中は今の特色をいかして存在できるのではないですか。安易で、そこに暮らしている人の気持ちなんて一つも考えていません。簡単に少ないとこ併せようとししないで、その前に少子化対策してください。その前に校区の見直ししてください。できることしっかりした上で考えてください。惣開、西中の良さ、校風、地域性の中で育まれる子どもたちの未来を希望します。この適正規模、適正配置には反対します。</p>	<p>今後は、本基本計画をもとに保護者や地域住民、学校関係者などと話し合い、合意形成を図りながら学校規模適正化や適正配置に取り組み、児童生徒にとってよりよい教育環境を整備し、教育の質のさらなる充実を図ってまいります。</p>
14	<p>浮島小学校は少人数ですが、その分年代の違うこども同士交流が盛んで、地域の方々にふれあい、心身ともにおだやかにゆとりを持って成長することができる他にはない地域特性の学校と感じています。少人数だからこそ、多人数では出来ない事も出来る(経験出来る)こともあるのではないのでしょうか。</p>	<p>番号1の回答をご参照ください。</p>
15	<p>浮島校区内のこどもが校区外の学校へ行っている事がかなり多く見られます。過去、数十年、きっちり校区の学校へ入学をしていけば、違う結果になっていたのではないのでしょうか。順番が違うのではないのでしょうか。</p>	<p>校区外許可通学につきましては、保護者の就労その他家庭の理由や兄弟在学等の教育上の配慮によるものなど、許可基準に基づき許可しているところです。</p> <p>近年、全市的な児童生徒数の減少が続いており、浮島校区におきましては、校区外入学にかかわらず、規模適正化の対象となるものと考えています。</p>
16	<p>多喜浜、大生院、船木地区等が、地理的要因に配慮し、公民館、保育園等の複合化で「小規模ならではのメリットを生かした特色ある学校として存続」できるのであれば、川西地区もそうしていただきたい。</p> <p>金子小学校も老朽化しているのだから、北中、西中の合併を言うなら南中をも一貫</p>	<p>番号9・10の回答をご参照ください。</p>

	<p>校とすべき。</p> <p>北中、西中は地域の特性に配慮し、合併はせずに、①北中×宮西小、新居浜小、②西中、惣開小、③南中×金子小、金栄小校区を見直したり、3校フリーに校区を選べれば良いのではないかと。</p>	
17	<p>学校跡地については立地条件が良い広い場所なので、さっさと解体して、分譲地、マンション用地とし、若い人達に格安で住宅を提供する。人口増加、児童増加に少しでも役立つ。ワクリエは一つで十分です。</p>	<p>番号4の回答をご参照ください。</p>
18	<p>パブリックコメントについては、本気で意見を求めているというならせめて市政だよりの第1頁に大きく載せたり、用紙も無駄と思わず付けてほしい。HPから提出用メールをクリックですぐにとべる等、計画を周知させる工夫がないと誰も知らず、意見ゼロで終わることが多すぎます。</p>	<p>パブリックコメントの周知については、いただいたご意見等を参考に、またSNS等も活用するなど、幅広く市民の皆様に広報し、ご意見をいただけるよう努めてまいります。</p>
19	<p>高津小学校と浮島小学校を統合し、校区編成により2分すれば、将来推計を見ても350~400名の児童数となり、適正規模、適正配置になるのではないのでしょうか。今後十分に検討し、住民の生活面、校区全体の活性化のこともよく考慮していただきたいと思えます。</p>	<p>番号9・10の回答をご参照ください。</p>
20	<p>このような案件は、HP上もしくは市内の施設に配布して開示しただけでは不十分だという意見が多いです。</p> <p>まず適正対象の校区の保護者に対して、実際このような案件があり、新居浜市のHPなどに一度確認してほしい旨を、学校から各家庭へプリント等で、連絡すべきと考えます。その上で意見を集め、新居浜市と適正化対象に関わる学校の家庭、あるいは現在は適正化範囲外でも、子供を持つご家庭の意見も取り込んで、最終的にもっと具体的</p>	<p>番号9・18の回答をご参照ください。</p>

	な方向性を段階的に開示していくべきだと思います。新居浜市は手間を省きすぎです。	
2 1	パブリックコメントを求められていることを全く知りませんでした。もっと知らせるべきことだと思います。	番号18の回答をご参照ください。
2 2	少子化問題は深刻で統廃合はある程度仕方がない面もありますが、子どもが楽しく通える特色ある魅力ある学校作りを念頭に置き、校風も考えず距離的に近いからということだけで統廃合されることがないようにお願いしたいです。 西中と北中が近いからと安易に統廃合するのは反対です。	番号13の回答をご参照ください。
2 3	文部省の意向とは違いますが、1組20名程度で複数クラス編成すると先生と児童生徒の距離も近くなり、精神面でも勉学面でもよいと思います。	番号2の回答をご参照ください。
2 4	将来的には惣開小学校との小中一貫校も案に記載がありました。田舎でしかも小中一貫校、何のためにと疑問です。小中一貫校にした場合のメリット、デメリットを知らせた上で、パブリックコメントを求める必要があると思います。 小学一年生と中学三年生が同じ学び舎で過ごすというのも年齢幅が大きいため不安を感じます。一貫校ということであれば、県とも協議し、中高一貫校を目指す方がよいのではと思います。 上部地区・川東地区にはスクールバスを検討する等、児童の通学負担が軽くなる対策をご検討下さい。	小中一貫校のメリットとして、子どもたちにとっては、中1の壁、小学校と中学校のギャップの緩和・解消や、異学年交流により精神的な発達が促されることなどがあります。また、教職員にとっては、系統性・連続性を意識した教育や、生徒に対し、継続的に指導を行うことができることなどが挙げられます。 一方、デメリットとしては、小学校と中学校の節目がなくなり、小学校卒業の達成感や中学校に向けた新たな気持ちの切り替えが失われる可能性などがありますが、これらのデメリットに関しては、教員が連携・協力しながら、メリットを伸ばす学校運営に努めていくことで対応が可能であると考えています。 中高一貫校については、愛媛県県立学校振興計画の中でも児童・生徒数の大幅な減少や地域協議会等の意見を踏まえ、宇和島

		<p>南中等教育学校を募集停止とすることから、新たに新居浜市に中高一貫校を設置することは困難であると考えています。</p> <p>適正規模・適正配置を進めていく上で統廃合等により通学距離が遠距離になる場合は、全市的な見地から費用負担を考慮した通学支援制度を検討してまいります。</p>
25	<p>西、北中の統合に反対いたします。</p> <p>少子化で何の対策も行わずただ単に人数が少なくなったから学校を無くする考えは馬鹿げている。</p> <p>各校区に於いても必要であり大切なものだ、小さな学校ほど教育的に必要なと思う、小学校でも同じで市内の区割りの見直しなど何一実施されていない、ただ単に少なくなったから統合の考えで住民の為に働いていない。</p>	番号1・13の回答をご参照ください。
26	<p>こうした大切な事は新居浜市全世帯にはっきりわかる様に公表をお願いしたい、小さな表示で公表して市民をだますような方法は如何なものか</p>	番号18の回答をご参照ください。
27	<p>パブリックコメントのみで意見を募集しても、あまり意見が出ていないと思われます。校区まちづくり集会での意見募集など、担当者が直接公民館や自治会館に足を運び、説明し、意見を聞く機会を設けてください。水面下で計画を進めようとしている印象を強く感じています。</p>	番号9の回答をご参照ください。
28	<p>若宮小学校統合の際と同じことを繰り返さないでください。今の状態では計画には、反対です。</p>	番号10の回答をご参照ください。
29	<p>意見が無いことを良いことと捉えず、むしろ興味が持たれていない、周知方法が間違えている、不足していると危機感を持ってください。</p>	番号18の回答をご参照ください。
30	<p>少子化対策と合わせて計画としては進ん</p>	人口減少に係る少子化対策については、

	<p>でいますか。川西地区の人口増加のための施策は無いため、統合する方向なのですか。新居浜市の中心地として、土地活用や区画整理などを進めることは検討されていますか。</p>	<p>本市が直面する最重要課題であり、若者の市外流出による社会減と出生数の減少による自然減による双方に歯止めをかけるため、新居浜市総合戦略に基づき、地元産業の振興、交流人口・定住人口の拡大、結婚、出産・子育て支援の充実等の様々な施策に取り組んでいます。しかしながら全市的な傾向として、今後も児童生徒数の減少傾向が続くと見込まれており、児童生徒にとってより良い教育環境を整備するため、川西・川東・上部の各地区において規模適正化・適正配置に取り組むこととしています。</p> <p>なお、川西地区においては令和5年3月31日に新居浜市市民文化センター基本構想を策定し、新施設の整備を推進することとしています。</p>
3 1	<p>WHOでも100人を上回らない学校規模を勧告しています。少子化のときこそ少人数学級を進め、教員を増やし、一人一人の子どもを大切に、行き届いた教育をする方向を目指すべきだと考えます。急いで統廃合しないでください。</p>	<p>番号1・10の回答をご参照ください。</p>
3 2	<p>西中北中合併の件について、それぞれの中学校が地域性や、教育方針など様々な色がある中、子供達が学校を選べる環境を崩してほしくありません。</p>	<p>番号13の回答をご参照ください。</p>
3 3	<p>このようなご意見の形だと市民の方々は知らないまま勝手に決定しているように思います。多くの子供の未来を左右する問題でもあるのでもう少し市民の方々の意見を尊重するために地域への呼びかけや小さい記事ではなく大きく記事にして宣伝し、意見をいただくなど、もう少し市民に寄り添うような方法はないのかと思います。</p>	<p>番号18の回答をご参照ください。</p>

※個人が特定される情報が含まれると判断した御意見や提出期限を過ぎて提出された御意見につきましては非公表としています。